

# JFM だより

**Vol.09**  
Winter & Spring  
2014

今号の表紙

## 宮城県仙台市 地下鉄東西線新設工事



TOPICS ..... P1

融資の実：宮城県仙台市 ..... P5

南蒲生浄化センター&仙台市地下鉄東西線 ..... P9

がんばる公営競技 ..... P11

自治体ファイナンスよもやま話 ..... P15

地方支援ダイアリー ..... P17

人事交流日記 ..... P18

地方公共団体ファイナンス表彰 ..... P19

私たちもJFM債買ってます！ ..... P19

JFMからのお知らせ ..... P19

地方の、地方による、地方のための

イラスト：荒井駅周辺イメージ（仙台市提供）

# Vol.2 仙台市地下鉄東西線 進化する都市・仙台 東西を結ぶ新線、始動へ



車両の駆動にはリニアモーター方式を採用。トンネル断面積が小さいため建設費コストを抑えられるなどさまざまなメリットがあります。

急ピッチで進む、トンネル内工事。進捗の様子は FaceBook「みんなで探検!仙台市地下鉄東西線」でも見ることができる。



## 市民からの応援・期待を受けて、新しいまちづくりへ着実に進む

東日本大震災から3年、仙台市では復興を牽引する最大級の開発プロジェクトである地下鉄東西線の工事が、平成27年の開業に向けて急ピッチで進んでいます。

市内には既に昭和62年に開業した地下鉄南北線が走っており、市街地開発のトリガーとなるとともに通勤や通学の足として、1日当たり約16万人に利用されています。

現在建設が進む東西線は、この南北線と仙台駅で交差する形で市内を東西に結び、約14kmの路線に13の駅が設置されます。市内南西部の八木山動物公園駅から、東北大学などのキャンパスが集まる青葉山駅や川内駅、さらに中心部を横断して流通機能が集積する卸町駅や六丁の目駅、そして復興公営住宅の建設など土地開発が進む荒井駅まで、表情豊かな市内の街を結んでいます。

また、広瀬川に近い国際センター駅周辺も注目を集めるエリア。平成27年3月に国連防災世界会議が開催される新展示施設(平成26年3月着工予定)の周辺には、国際センターや博物館、美術館などもあり、国内外から多くの人々が訪れる国際的な学術文化交流拠点を目指しています。

東西線の開通によって市内の主要なエリアや観光施設の間をほぼ30分以内で移動できるようになりますが、市民の利便性向上ばかりでなく、新幹線の停車駅「仙台」をフルに活かすことで、観光客の誘致においても大きな威力を発揮するはずです。

それだけに市民の期待も高く、市民、大学、NPOをはじめ様々な人々が連携した取り組みがスタートしています。「東西線まちづくり市民応援部」もそんな活動のひとつ。すでに372の団体や個人が部員として参加し(平成26年1月末現在)、沿線の魅力向上や東西線開業機運を盛り上げていくためのイベントなどの活動を行っています。また、東西線の駅を中心に地域住民によるまちづくり協議会が発足するなど、地域に根ざした活動も行われています。

地下鉄東西線の開通が予定される平成27年は、前ページでご紹介した南蒲生浄化センターの新施設が稼働する時期にも重なります。復興、そして新たな発展に向けて、仙台市は着実に歩み続けています。



## 東西線まちづくり市民応援部

<https://www.ouenbu.jp/>



## まっくる

<http://www.makkuru-sendai.jp/>

東西線沿線の地域に配布しているフリーペーパー「まっくる」。沿線の情報やまちづくりの活動などを紹介しています。



## スマートフォンアプリ TOZAI-SEN PHOTO GALLERY SEE THE LIGHT

<http://www.dmp.co.jp/tozai-sen/>

仙台に縁がある若手クリエイターとコラボレーション。スマートフォンなどで見られるフォトギャラリーアプリを無料配布しています。

※このアプリは仙台市の情報産業支援事業の一環で制作しています。

